

KSKR

HIT ニュース

No.62 Sep./2023

表紙：御勝山南公園

今回の表紙は勝山通りを挟んで、御勝山公園と御勝山古墳の南に位置する御勝山南公園の写真です。1882年から1968年の間大阪管区气象台として活動し、のちに跡地として公園となった歴史がある場所です。中央にはアートのような巨大な遊具があり目を引く景色となっています。また公園自体もとても広く木々がたくさんあり、自然豊かで、ジョギングコースにも最適で、区民の憩いの場にもなっています。

- 特集「HIT の就労支援」後編
就労継続支援B型事業所「あしすと」と「タスト」のOBにインタビュー！
- 特定非営利活動法人 精神障害者支援の会ヒット
第23回 定時総会 レポート！

巻頭言 人と人とのつながりに支えられて

一般社団法人 こころのいしずえ
就労継続支援 B 型事業所 ぴあんぴあーの

藤崎 朋子

地域生活支援センターすいすいにボランティアに行かせてもらって20年くらいになります。そこで出逢った人たちの存在に支えられてきました。

それは私にとって社会とのつながりでした。人とのつながりに励まされたり、支えられていることを実感していく中で、ありのままの自分を少しずつ受け入れ、自分を取り戻してこられたように感じ、感謝の思いでいます。

ボランティアを続ける中で、様々なお話を聴かせていただき、自分自身がたくさんの力をもらいました。何か私もできることをして返していきたいと思い、支援の仕事に就きました。

精神障がいを抱える人たちの支援に携わってきた中で、自分や自分の大切な人が行きたいと思えるような安心できる場を創れているのだろうか、以前から考え続けてきました。私自身、子ども時代から生きづらさを抱え、居場所を探し続けてきたからなのかもしれません。

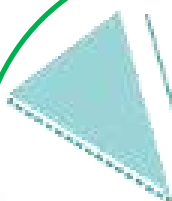
自分らしく自分のペースで生きること、気持ちをことばにしていくことを大切に、本当の意味での必要な支援が得られる環境をつくっていきたいと考えています。

私事ですが、この度ようやく、「安心できる・いつでも帰れる 居場所」をつくる第一歩が踏み出せました。まだまだ戸惑うこともありますが、みんなで創っていこうとしています。時には重荷を下ろしてゆっくりと休み、傷や痛みを癒しながら、人とのつながり、自分のことば、信じる心を取り戻し、可能性と希望に開かれた場所になれるように、ともに学び合い、進んでいきたいと思います。

共同創造という言葉のリカバリーカレッジに出会って知りました。共同創造は、サービス利用者とサービス提供者が対等な立場で取り組み、よりよいサービスを作っていくことを言います。リカバリーカレッジでは、精神的な困難の経験を有する人と専門職が話し合いをし、それぞれの経験や知恵を出し合って共に講座を創りあげ提供します。そのすべての過程で共同創造がなされていることなどに関心を持ち引き込まれました。

一方的に支援される関係ではなく、支えているようで支えられている、支えられているようで支えていると感じられる信頼関係の中でこそ、人は本当の意味で元気になっていけるのだと感じています。

そういう信頼関係づくりを大切にしながら、本当に望んでおられる生活の実現を目指して、力を注いでいきたいと考えています。



目次 HIT ニュース No.62

・巻頭言 「人と人とのつながりに支えられて」

一般社団法人 こころのいしずえ
就労継続支援 B 型事業所 ぴあんぴあーの

藤崎 朋子 2-3

・特集 HIT の就労支援 後編 4-8

・せせらぎくらぶ便り 9

・当事者の声 No.8 ゆめくらぶ所属 乃美福治(紘道) 10

・特定非営利活動法人 精神障害者支援の会ヒット 第 23 回 定時総会 レポート！ 11

特集

HIT の就労支援

後編

HIT には 3 か所の就労継続支援 B 型事業所があります。
天王寺区には「むつみ工房」と「あしすと」、東成区には「タスト」があります。
それぞれに特色を持ちながら、メンバーさんが自分らしく働くために支援を行っています。

前編に引き続いて、今回は「あしすと」で就労支援を受け就職された井上裕介さんと「タスト」で就労支援を受け就職された全聖一さんのお2人にたくさんお話を伺いました。

元あしすとメンバー 井上裕介さん

epi.2

勤務先:株式会社マンドムウィル特例小会社

勤務形態:8:30~17:05 障がい者雇用

仕事開始時期:2018 年 11 月~



ー本日はお忙しいところ、ありがとうございます。
早速ですが、井上さんのお仕事について教えてください。

井上さん:あしすとと仕事の流れは似ています。仕事の内容は化粧品のテストのシール貼りや旅館やホテルのアメニティー(シャンプーの空容器等)を数える等、日によって仕事が変わります。働いている人は7人で指導員の方が2人いらっしゃいます。

ー次に就職に至る経緯を聞いてもよろしいでしょうか？

井上さん:あしすに通っているうちに就労を考えるようになりました。最初はあしすとのスタッフに病院の子どもたちと関わる仕事を紹介してもらいました。面接を受けたのですが、そこでは就労できませんでした。
高校を中退したことが自分自身のコンプレックスでもあり、ネックになっているのではと考えるようになりました。そこであしすとのスタッフの勧めもあって、通信制の高校に入学することにしました。週 3 回午前があしすと、その後は学校の生活が3年続きました。2年目は少ししんどいこともありました。それを乗り越えて、卒業したこと、自分にも続けられたことが大きな自信につながったと思います。卒業後、就職先を再度探して、今の職場に巡り合いました。

ー現在はリーダーになられたとお聞きしましたが、そこに至るまでの苦労や支えになったことをお聞かせください。

井上さん:最初の頃は大きな会社で人と会う事にとても緊張していました。慣れない人と話すこともしんどかったし、内職の際に物の個数に間違いがないか不安でした。8時間勤務は初めとてもしんどかったです。精神的な不調から、4週間に1回の通院が2週間に1回の通院になることもありました。慣れるまでの1、2年目はしんどかったけれど、3年目からは要領を掴めて楽になりました。

支えになったことは月1回面談があることです。担当の職員さんからの評価や不安なことを話せる機会があり、言葉にするって大切だなと思いました。悩みを聞いてもらうと気持ちが楽になって続けることが出来ました。

ーそういうことを乗り越えてリーダーになられたんですね。リーダーになって、一番嬉しかったことはなんですか？

井上さん:そうですね。頑張った甲斐もあって、リーダーになれました。リーダーになって何より嬉しかったのは給料が上がったことです。もちろん責任も大きくなりましたが、お金があることで心にゆとりが出来て、映画や、好きなアーティストのライブに行く事ができました。社会に出てみたら苦しいこともあるけれど、それだけではなく、楽しいこともいっぱいあります。今は21歳の後輩とお話するのがとても楽しいです。

ー今のお仕事を長く続けられていることは支えがあったことも大きいと聞かせてくれましたが、井上さんの頑張りがあってこそだと思います。井上さんにとってあしすととはどんな場所ですか？

井上さん:今でも心の拠り所になっています。病気になってからはずっと孤独を感じていました。でも、あしすとに来て、同じ境遇の人がいて自分は1人じゃないことを知りました。あしすとの職員さんは一番身近な人として信頼しています。あしすとに居た7年間は、自分にとって必要でとても大切な充電期間だったと思います。

ー最後に就労を目指している人へアドバイスをお願いします。

井上さん:一番大切だと思っている事は、自分の今やっている仕事内容に関係なく、毎日早寝早起きすること。生活リズムを整えて毎日そこに通うこと。そうすれば、それが自信になってアルバイトや就労等、一歩踏み出すことができます。踏み出してしまえば体調を崩してしまったとしても、有休など助けてくれる制度があります。うまくいかなかったとしてもまた戻って来ればいいし、楽しいことだけではないけれど、忍耐強く取り組むことが就職につながると思います。

元タストメンバー 全 聖一さん

epi.3

勤務先:A 結婚式場

勤務形態:9:00~17:00

アルバイト(障がい者雇用)

仕事開始時期:2022年1月~



ー本日はお忙しいところ、ありがとうございます。
早速ですが、全さんのお仕事について教えてください。

全さん:結婚式場の庭の清掃や駐車場のゴミ拾いが主な仕事です。自然豊かで落ち葉が一杯あります。障がい者雇用の方が3名いて、シルバー(65歳以上の方)の方が多数いらっしゃいます。他には指導員の方がいますが、基本は見守りで何かあればすぐに相談できる環境です。仕事中は基本1人行動で、1年経って仕事には慣れてきたところです。

ー他の職員さんとの関係性はいかがですか？

全さん:※就ポツ経由で就労している方が多くて、1人色々と教えてくれる親切な先輩がいます。1人行動なので、他の職員さんと仲良くなれたかはわかりません。仲良くなれてたらいいんですけどね。

ーありがとうございます。次にタストに通所していた時のお話をお聞かせください。

全さん:病気になる前は居酒屋で働いていたこともありましたが、病気になってから、通院先にタストを紹介してもらいました。4年間通っていましたが、最初の1年目は昼夜逆転の生活から抜け出せず、午後から通所していました。2年目以降は午前から1日タストに居られるようになりました。

ー2年目以降午前からタストに通えるようになったきっかけは何かあったんですか？

全さん:思い切って薬を変えて欲しいと主治医に伝えたんです。そうしたら薬を変えてくれて、徐々に午前から通所出来るようになりました。その後3年目からは施設外就労にも参加したいと思い、週5でゆうあいの清掃のお仕事をしていました。喫煙者なので、ゆうあいのお仕事時間中はタバコを吸うことが出来ないことが不安でしたが、問題なく仕事をできたことが自信になりました。

—週5で施設外就労はすごいですね。それが自信につながって就職を考えるようになったのですか？

全さん:就職をしたいと思ったのは、収入面が不安定であることが大きな理由です。就ポツに登録して、タストのスタッフと一緒に就職活動をはじめました。1か月10万円を稼ぐことが第一の目標でした。紹介される仕事は清掃関係が多く、最初清掃はちょっと…と思っていたのですが、コロナ禍ということもあって他の仕事が見つからなかったんです。その中で結婚式場の清掃のお仕事を紹介されて、楽しそうと思えたんです。そのまま就労に繋がりました。

—コロナ禍の大変な時期に無事決まって良かったですね。就労してから大変だったことや楽しかったこと等のお話をお聞かせください。

全さん:大変なのは、自然が相手なので忙しい時と暇な時に差があることです。暇な時は仕事の取り合いになってしまうので、忙しい時の方が好きですね。仕事をしないといけないという意識があって、焦ってしまうんです。あとは喫煙が厳しくて、職場に入ると職場を出るまでは完全禁煙であることですね。ただ、みんな我慢していることだし、ゆうあいの施設外就労の時も吸えなかったので、禁煙に関してはすぐ慣れました。

仕事が楽しいと思えることは、自然が豊かであることです。春には堤防の桜がすごくきれいいに見えて、仕事をしながら楽しむことが出来ます。秋には紅葉がきれいです。景色を見ながら仕事をしていると、この仕事をしていてよかったと思います。

初めはタストみたいにこまめな休憩がないから、心配もあつたんですけど、今はそんな不安もないです。稼ぎも増えて自信もつきました。

—景色を見ながら仕事をすることが癒しにもなり、やりがいにも繋がっているんですね。日々を過ごしている中で支えになったことはありますか？

全さん:タストや就ポツの方に助けてもらっています。タストには通勤定期を月一回購入する際に近況報告をしていて、話を聞いてもらっています。そして、タストに通所していた時の経験が今に生きています。レクで電車に乗った時に、電車に抵抗がないことがわかったし、ゆうあいの施設外就労に行けた事は大きな自信につながりました。就労したいとタストの職員の方に相談した時、親身になって聞いてくれたこともありがたかったです。その頃は、タストで毎日同じことを繰り返しやることが自分の中では大切だったんだなと思います。あと、休日は寝ていることが多いのですが、バラエティーの動画を見るのが好きでリフレッシュしています。起きた時に次の日も頑張ろうと思えます。

—就労を目指す仲間にメッセージをお願いできますか？

全さん:大切なことはスタッフに相談すること、気持ちを開示することです。就労したいと伝える事だと思っています。

—ありがとうございます。全さんの次の目標を教えてください。

全さん:次の目標は以前やっていたように飲食関係の仕事に戻るか、倉庫内作業があれば挑戦してみたいなっています。

井上裕介さんと全 聖一さんの インタビューを終えて



今回は井上裕介さんと全聖一さんのお話を聞かせて頂きました。

前編に引き続き、貴重なお話を聞かせてもらえたことにとても感謝しています。井上さんと全さんにとってあしすとヤタストに通う中でついた自信が、就労への後押しになり実現したことをとても嬉しく思いました。ヒットの就労支援事業所は、「自信がもてるようになる場所」でもあると皆さんに知って欲しいと思います。通所される目的は人それぞれ違います。目的に合わせて、希望が実現するよう私たちスタッフがしっかりとサポートしていきます。

最後に井上さんが励まされたと教えてくださった Mr.Children「終わりなき旅」の歌詞の一節をご紹介します。

…閉ざされたドアの向こうに新しい何かが待っていて…

(作詞作曲:桜井和寿,1998 年,Mr.Children「終わりなき旅」からの引用)

閉ざされていると思えるドアも1歩踏み出して開けることができれば、新しい世界が広がります。挑戦することの難しさ、挑戦が実を結んだ喜び、挑戦できる環境への感謝、3名の方にたくさんのお話をいただきました。これから挑戦しようと思うみなさんへこの記事が届きますように心を込めて、この特集を終わりにしたいと思います。

井上さん、全さん、ありがとうございました。また遊びに来た際にはお話を聞かせてくださいね。

※障害者就業・生活支援センター(就ボツ)・・・就職を希望している障害者、在職中の障害者に対し、就労・生活の一体的なサポートを行っているセンター。2023 年 4 月現在、全国に 337 箇所設置されている。

せせらぎクラブ便り

こんにちは。せせらぎクラブは全国でも数少ない当事者会(1999年結成)で、大阪において細く長く活動が続けて来て、いつの間にやら今年で24年が過ぎました。

リカバリー(人間性の回復)についての学びを深めて来ていますが、「自分の生き方を考える場」とのセルフヘルプ・グループの文化を大切に、仲間同士が心を癒やしながら、各人が自分の人生を取り戻し、新しい生き方—自分らしい生き方を思いながら歩んでいます。

コロナ禍も少しおさまって、今年の4月から新しい良き電話相談員も加わり、せせらぎクラブは和やかで楽しいにぎわいを取り戻して来ています。

「希望」という言葉があらためて参加する当事者の胸によみがえってきている事を感じます。

この文を見られた当事者の皆さま、気らくに電話相談「支えあい電話」や「体験者交流会」などにつながって頂けたらと願っています。

山中 実

はじめまして。4月から「せせらぎクラブ」の電話相談員の仲間入りをしました。吉成香です。まだまだ勉強中ではありますが、みなさまのお気持ちによりそえる様に頑張りますので、よろしくお願い致します。

吉成 香

せせらぎクラブ支えあい電話
毎週水曜日13時半～16時半

☎06-6973-4121

担当 山中 実 鈴木 友宏
吉成 香



思いつくままに

俳句を趣味として生きる

ゆめくらぶ所属 乃美福治(紘道)

私が有季定型の俳句を余生の趣味とし、その世界に耽溺するようになって十五年余りになる。詳細は省くが平成二五年の長期入院によるブランクや宗教にのめり込むあまり俳句を中止した時期もあったが、それを除けば南風と云う俳句結社の会員として投句を続けて来た。俳句の初心時代には何を見聞しても新鮮で常時新しい発見の連続で高濱虚子の「秋風や眼中のものの皆俳句」と云う句を地でゆく感があつたが、五年十年と年を経るにつれ自分なりの俳句の世界が築けないままイメージがマンネリ化して来たようである。長期入院(ベッドに仰臥の九カ月)の所為で脚が不自由になり(いまだにリハビリを続けている)自由外出に恵まれない為に刺激が少なくなっているのが大きいと思う。今では過去の経験の記憶や想像力が頼りだが、これも趣味のうちだから割り切れば結構楽しいものである。

有季定型について江國滋氏は『俳句と遊ぶ法』の中で、スポーツのルールと同様遵守すべき規則だと述べている。彼は尾崎放哉や山頭火らの自由律俳句は勿論無季俳句さえも俳句とは認めず、単なる短詩にすぎないと片づけている。これには異論もあるだろうし、あまりにも現実離れしているようだが理解できなくもない。それが俳句らしい俳句だからだ。定型も多少の字余りは許されるものの字足らずは忌避すべきである。芥川龍之介の「兎も片耳垂るる大暑かな」という句は成功している例外中の例外であろう。

私は中村苑子の句集『水妖詞館』を『歎異抄』と共に座右の書としているが、その中には例えば擬態語の秀逸な「おんおんと氷河を迂る乳母車」や女性の宿業の悲哀を詠んだ「黄泉に来てまだ髪梳くは寂しけれ」など私の愛誦する無季の句が多数収録されている。そう云う意味では私は無季俳句容認派と自称してもよいのかもしれない。とは云っても私の作る句は飽くまでも有季の句に限られている。

紙数も尽きたので最後に私の句を紹介すべきだろう。つたないが一季節一句ずつ掲げて終わりにしたい。

(春) 春寒し部屋に帰りてさう思ふ

(秋) 秋の雲疾うに捨てたるこころざし

(夏) 薄れゆく記憶の中のソーダ水

(冬) 目薬の溢れ耳朶へと冬に入る

(新年) 読初や表紙繕れたる歎異抄

令掌

特定非営利活動法人 精神障害者支援の会ヒット 第 23 回 定時総会 レポート！

2023年6月24日(土)14:00より、生野区民センター・ホールにて「特定非営利活動法人 精神障害者支援の会ヒット 第23回 定時総会」が行われました。

2020年度から、新型コロナウイルスの流行の為、例年通りの開催ができませんでした。しかし、「顔が見られる総会にしたい」という思いから、オンライン中継や感染対策を十分に行うことができる会場で開催する等、試行錯誤しながら取り組んできた3年間でもありました。

今年度は正会員122名中81名(内委任29名、書名表決10名)という多くの会員参加となり、総会は成立しました。新型コロナウイルスが流行する前の定時総会を経験したことがある方も、新たに会員になられた方も、賑やかな総会を迎えられ、感慨深かったのではないのでしょうか。

今年度も各統括責任者より 2022 年度の事業及び決算が報告され、非常に厳しい経営状況であることを全会員で確認しました。予算については、経営の安定化を目標としていくとともに、今まで以上に質の高い活動を行う決意を誓い、全会一致での承認を得る事ができました。

第3号議案の役員増員の件では、新たにグループホーム事業統括の清水が理事候補として選出され、全会一致で承認されました。また、前回の総会でご意見を頂いた、第4号議案の正会員会費変更の件では、現行一口3,000円/年から一口1,000円/年に変更という案が出され、こちらも全会一致で承認されました。賛助会員・法人団体会員の会費、総会での決定権は口数によらず一人一議決権で変更なしとなっており、正会員会費変更については2023年7月1日より適用となります。

総会に参加された当事者の方からは、「ヒット総会が数年間出来ず今回久々に開けた。埋まらなかったピースが久しぶりに埋まった気がする。せせらぎの報告もできて安堵した。」との感想をいただいています。

今年度のヒット定時総会は当事者の方や関係機関の方の質疑応答が活発に行われました。総会は皆さんと顔を合わせ、意見交換できる貴重な場です。これを今後も継続していく為には皆さんのお力添えが必要です。ヒットでは、会員を随時募集しております。ぜひヒット総会に参加して、共にヒットを育てていただだけませんか？ご検討ください。



ヒット事業所一覧

地域活動支援センター(生活支援型)

憩いの場、食事・入浴サービスと相談支援事業(電話・面談・訪問・情報提供等)、長期入院者の退院支援、計画相談支援事業を行っています。また、当事者活動「せせらぎクラブ」の活動拠点となっています。

□精神障害者地域生活支援センターすいすい
火～土 10:00～17:00 Tel. 06-6977-0114
〒537-0024 東成区東小橋 1-8-12

グループホーム

入居者の個別のニーズを共に確認し、医療機関等の他機関と連携しながら支援を行っています。

□グループホーム HIT

訪問事業

ヘルパーや看護師を派遣し、生活面や医療面のサポートを行っています。

□居宅訪問介護事業 ヒットハンズ
月～金 9:30～17:30 Tel. 06-6731-2300
〒544-0031 大阪市生野区鶴橋 2-18-11

□訪問看護ステーション ひっとほっと
月～土 9:30～17:30 Tel. 06-6191-7757
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 4-16
ウエイビル 1 階

就労継続支援 B 型事業所

同じ障がいを持つ仲間同士、喜びも悩みも共感し合いながらそれぞれの無理のないペースで作業に取り組んだり、余暇活動を楽しんだりしています。一人ひとりが安心して目標に向けて準備をしていけるよう、医療機関や各関係機関等とも連携をしながらしっかり丁寧にサポートしていきます。またイベントへの参加など社会参加の機会も多く、地域とのつながりを大切にした活動を行っています。

□あしすと
月～金 9:00～16:30 Tel. 06-6191-7755
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 4-16
ウエイビル 1.2.3 階

□タスト
月～金 9:00～16:30 Tel. 06-6975-8050
〒537-0024 大阪市東成区東小橋 3-1-15
NKBビル 2 階・4 階

□むつみ工房
月～金 9:00～17:00 Tel. 06-6773-0418
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐 4-5-11
吉祥苑マンション 101 号

生活介護事業所

送迎や食事・入浴サービスを行っています。またプログラム活動や生産活動、等の機会を提供することでそれぞれのニーズに合わせた支援を行っています。時間に縛られずのんびりと過ごすことが可能です。

□アトリエ・IK
月～金 9:00～17:00 Tel. 06-6711-2235
〒544-0031 大阪市生野区鶴橋 2-18-11

□ゆめくらぶ
月～金 9:30～17:00 Tel. 06-7891-8084
〒544-0034 大阪市生野区桃谷 1-13-1
新栄プロパティ桃谷 2 階

ヒット会費納入について

会費の納入がお済でない会員の皆様は、下記の口座へお振込みをお願いいたします。同時に新規会員も大募集しております。ぜひ皆様もヒットを支えるお一人になっていただけませんか？心よりお待ち申し上げます。

振込講座：郵便振替
講座番号：00990-4-110460
加入者名：特定非営利活動法人 精神障害者支援の会ヒット

●HITニュースみんなのご意見箱

皆様のご感想、ご意見を大切に、これからのHITニュース運営・編集の参考にさせていただきます。編集スタッフ一同、心よりお待ちしております。
※HITホームページの右下にご意見箱の入口があります。
HP: <http://www.npo-hit.or.jp>

●HITニュース当事者の声投稿募集!!

まずは、お気軽にご相談ください。

・電子メール: news@npo-hit.or.jp

・電話: 06-6977-0114 (HIT ニュース担当者宛)

文書・イラスト・写真など表現は自由です。文字数は 800 字程度、画像のサイズはご相談ください。

皆様からの投稿お待ちしております。

発行人：関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区
真田山町 2-2 東興ビル 4 階

HIT ニュース

2023 Sep. No. 62

編集：特定非営利活動法人
精神障害者支援の会ヒット
HITニュース編集部

〒537-0024
大阪府大阪市東成区東小橋 1-8-12
地域生活支援センター すいすい内

Tel. 06-6977-0114
Fax. 06-6975-9955